



家畜保健衛生所だより

R7.1.9

ランピースキン病が続発中！吸血昆虫対策の徹底を！！

昨年11月6日に福岡県で国内初のランピースキン病の発生が確認されて以降、令和7年1月6日現在、**福岡県19例、熊本県3例の計22例**が発生しています。

発生した地域近郊での続発例だけではなく、これらの地域から**約10 km又は約35 km離れた農場での発生も**確認されており、サシバエ等吸血昆虫の飛翔による感染ルートのほか、**サシバエ等が車両に付着し又は車内に侵入することにより他の地域に運搬された可能性も**考えられています。

このことから、農場内における防除対策に加え、農場間の感染拡大の防止についても適切に対応する必要があります。今一度、飼養衛生管理を確認するとともに、車両や人による農場へのウイルス侵入防止対策の徹底をお願いします。

⚠ サシバエ等吸血昆虫対策について ⚠

I. 農場でのサシバエ等吸血昆虫対策

- 畜舎の開口部に殺虫ネットを設置し、侵入を防ぐ。
- 成虫の駆除・殺虫だけでなく、サシバエの発生を抑制するための幼虫対策(発生源となり得る場所へのIGR剤の散布)、牛舎周辺の草刈り等も併せて実施する。

II. 農場間の伝搬リスクを軽減させる対策

- 農場への入出場時に車両(タイヤ周りだけでなく車体・車内も)の洗浄・消毒を実施し、サシバエ等を農場間で運ばない対策を徹底する。
- 車内に殺虫スプレーを常備する。

🐄 防疫対策を徹底しましょう 🐄

- ① 異状(皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の低下等)の早期発見・早期隔離・早期通報
- ② 吸血昆虫対策(トラップの設置、殺虫剤の散布等)
- ③ 導入牛の一定期間の隔離、経過観察
- ④ 農場消毒(エタノール、逆性石けん等一般的な消毒剤に効果あり)



【皮膚の結節】

中予家畜保健衛生所 TEL 089-990-1333
携帯 090-6282-6129 (夜間・休日)